

# 戦争の悲惨さを知り、平和の大切さについて考える

1 対象学年 小学3年生

## 2 ねらい

今年で戦後70年の節目を迎えた。戦争が終わって70年が経ったとはいえ、戦争の悲惨さや人々の苦しみを忘れてはいけない。そして、戦争を知らない子どもたちにも、それを伝えていかなければならない。昨今、日本の安全保障のあり方について、世間で大変話題になっており、わたくしたちの世代が日本の平和のあり方について真剣に考えていく必要性が高まってきている。そんな時だからこそ、子どもたちに平和についての意識をもたせていくための平和教育は、非常に大切であると考えている。そこで本実践では、戦時中の悲惨な町の様子や苦しい生活の様子について、写真や具体物を活用して、現在と比べながら学習させる。また、実際に戦争を体験した人の話をもとにした映像資料や体験記を活用することで、子どもたちに戦争のイメージをもたせやすくする。そうすることで、少しでも戦争の悲惨さや恐ろしさ、人々の苦しみや悲しみを知り、平和の大切さについて考えさせたい。

## 3 指導の流れ

### (1) 準備

「焼け跡に立つ虹」戦時中の描写を表すスライド 提示する各食材 画像資料

提示装置 ワークシート 愛知県教員組合平和教育資料

平和教育資料「いわたくんちのおばあちゃん ～ぼく、戦争せんけえね～」について

- ・ 現代の小学生が、おばあちゃんの被爆体験を聞き、戦争はよくないということを感じる話。
- ・ 登場するおばあちゃんの昔話は、実際に昭和20年8月の広島で起こった話がもとになっている。(おばあちゃんは学生時代、広島で被爆して自分以外の家族を全員亡くしている。被爆直前に撮った家族写真が被爆後に届き、写真に写ることにトラウマがある。この話は、孫たちが「なぜおばあちゃんは写真に写らないのか」という疑問をもち、そこから被爆体験談がスタートしていく。)


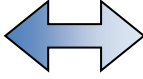



### (2) 指導計画 (2時間完了)

#### 第1時

時間	学習活動	指導上の留意点
10分	1 「戦争」のイメージを出し合う。	<p>○ 広く問いかけ、戦争のイメージを膨らませる。黒板に「戦争」を中心として吹き出しのような形で子どもたちの意見をまとめ、イメージを共有できるようにする。</p> <p>【意見をまとめたイメージ図】</p>

10分	2 戦時中の様子を知る。	○ 戦時中の苦しかった生活について、「焼け跡に立つ虹」を引用したスライドを用いて伝える。
10分	3 戦時中と現在を比べる。 (1) 町の様子を比べる。 (2) 学校生活を比べる。	○ 空爆後の名古屋の様子や学校生活の様子、夏季休業中の課題などを提示する。提示する際は、写真の場所や生活の活動内容などを予想させ、与えた選択肢で答えさせる。

提示物	＜戦時中＞	町	＜現在＞
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争教育</li> <li>・空襲に備えた避難訓練</li> <li>・学校へ行かず農家の手伝い</li> <li>・集団疎開</li> <li>・勤労奉仕</li> <li>（飛行場の石拾い 道路の穴ぼこなおし</li> </ul>		 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、算、社、理、音、図、体</li> <li>・休み時間</li> <li>・学校でみんなと遊ぶ</li> <li>・自宅で家族と暮らす</li> <li>・自由な時間</li> <li>（友達と公園で遊ぶ ゲームをする</li> </ul>

(3) 食生活を比べる。



【提示する食べ物の例】

【比較する資料】

○ 戦時中の食生活について具体物を見せる。提示した物の中でどれが実際に食べていたものか予想させ、答えさせる。


○ 実際に、配給が滞った時に食べていた粟・ひえ・芋のつる・澱粉・トウモロコシ・かぼちゃの種・ミカンの皮・雑草などを用意して提示する。体験記には、戦地ではカエルやネズミやヘビとも書かれているが、これらはイラストか模型程度で、現物は控える。

5分	4 本時を振り返る。	○ 本時の学習でわかったことをワークシートに書かせる。
----	------------	-----------------------------

第2時

時間	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
2分	1 前時を振り返る。	○ ワークシートを見せながら、前時を振り返らせる。
5分	2 原子爆弾について知っていることを発表する。	○ 原子爆弾について、知っていることを発表させる。 ○ 子どもの発表の内容について、画像を見せ説明する。
20分	3 映像資料を見る。	○ 「もし、自分だったら」という視点で見させる。

主発問：「もし、あなたがちづ子さんの立場だったとしたら、あなたはどのように思いますか？」

8分	4 映像資料を振り返る。	○ 映像資料の内容を自分に置き換えて思ったことや、考えたことをワークシートに書かせる。原子爆弾の悲惨さや戦争によって家族を失う悲しみなどにふれられるよう、声をかけてから書かせる。	
10分	5 「平和」について考え、感想を書く。	○ 書いたことを発表させ、考えを共有させる。 ○ 戦争の悲惨さから、平和の大切さへつなげていくために、前向きに考えさせるような発問をする。	
発問：「平和な世の中って、どんな世の中ですか？どんなイメージですか？」			
 <p data-bbox="252 884 561 969">【意見をまとめたイメージ図】</p>			<p data-bbox="639 607 1414 752">○ 子どもたちには、短い単語でイメージを答えさせる。「平和」という言葉を中心に、子どもたちの発言を吹き出しのような形で、黒板にまとめていく。</p> <p data-bbox="639 775 1394 860">○ 「平和」についての感想をワークシートに書かせる。2時間通しての感想になるように、声をかける。</p>

#### 4 実践のまとめ

##### (1) 戦時中の様子を知る

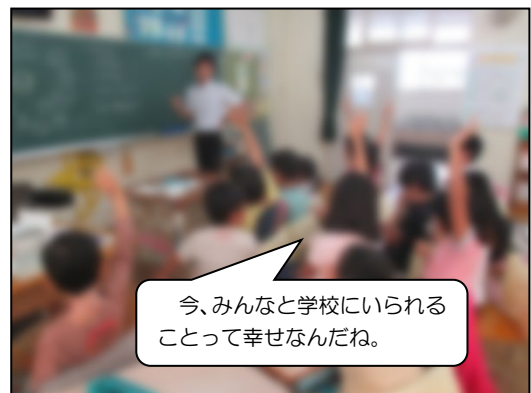
「焼け跡に立つ虹」の関連部分の話を、イメージ画像と合わせて、読み聞かせた。学区の近くの公園に避難した話や、周辺に爆弾が落ちた様子、苦しい生活の描写を読み伝えると、子どもたちは「ひどい」「怖い」などとつぶやいたり、驚いた表情を見せたりしており、戦争の悲惨さを感じさせることができた。



【授業の様子】

##### (2) 戦時中と現在の様子を比較する

まず、町の戦時中と現在の様子を比べさせた。画像を見せると「わあ」と声をもらし、町の悲惨さが伝わっている様子だった。次に、戦時中の子どもの生活を比べさせた。戦時中は疎開により、家族と暮らせなかったことや、学校で楽しく過ごせず、軍の手伝いや食べ物の調達をしなければならなかったことを知り、現在の生活がいかに幸せを実感させることができた。



たべたくないものばかりだった。  
たべたくないと思いました。  
せんそうの人はくるしいと思いました。

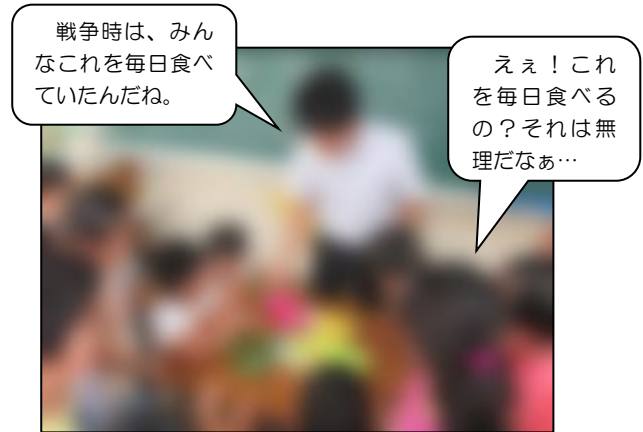
【苦しさを実感した子どもの感想】

最後に、実際に戦時中の食べ物を提示した。提示する前に、どんな物を食べていたか予想させると、「パン」「カンパン」「草」「花」「みそ汁」などがあがった。実際に食材を手にとってみると、「種は食べたことある

けど、毎日こればかりは無理だ」「草は絶対に食べたくない」と戦時中の食生活の苦しさが伝わっている様子だった。



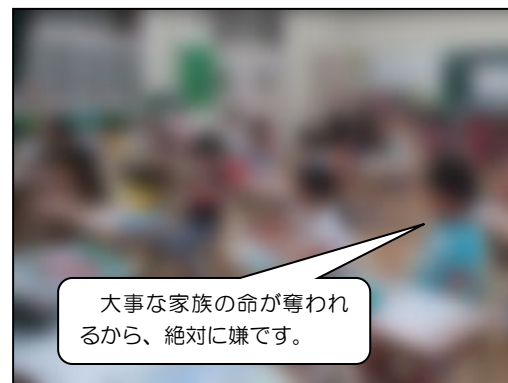
【実際に提示した食べ物の具体例】



【提示された具体物にふれる子どもたち】

### (3) 映像資料「いわたくんちのおばあちゃん～ぼく、戦争せんけえね～」を視聴する

映像資料を見ながら、時折「怖いな」「かわいそう」とつぶやいている声が聞こえた。資料を見終わった後、感想を聞くと、「戦争は怖い」「家族の命が奪われるなんて、とても苦しい」「自分がちづこさんだったら、耐えられない」といった言葉が出た。戦争の悲惨さや恐ろしさについて十分に伝わっていると感じた。



かなしいが、早くをころされてくやしい。

【映像資料を見た子どもの感想と授業の様子】

### (4) 平和について考え、感想を書く

最後に、子どもたちに「平和」のイメージを聞くと、下のような言葉が出てきた。2時間を通して、戦争の悲惨さや戦時中の生活の苦しさを知ることができ、改めて戦争はよくないということや、今の世の中は平和であるということを確認することができた。感想には、「自分はケンカをしないように、みんなと仲よく過ごす」と書いた子や、下のように今の世の中の平和についてや他の国と



のかかわりについて考えることができた子どもも見られた。

しせんがいらいはいで、今は平和だとおもいました。  
わたしはこれからともだちとながよくして、ちがう国からきた人たちともながよくくらし、せんそうなし、いわな、世界をつくりたいです。

【子どもたちが考えた平和のイメージ】

【実践後の子どもの感想】

## 5 実践の成果と今後の課題

今回の実践を終えて、体験記や映像資料を用いることは、子どもたちに戦争の悲惨さを伝えるのにとっても有効であった。また、食べ物の具体物を提示したことは、戦時中の生活の苦しさを理解させることに有効であったと考える。しかし、これからも「平和について関心をもって生活していく」という姿にはまだ至っていないと考える。今後も平和についての取り組みを続けていきたい。

せんそう

戦争中の生活について考えよう 3年( )

1 戦争中の生活は、あなたのイメージとどうでしたか？

ア：同じだった

イ：ちがった

2 今日の学習で思ったこと・わかったことを書きましょう。

(もし自分がその生活とすると考えたら…)

町

学校

食べ物

せんそう

戦争と平和について考えよう 3年( )

○ ビデオを見て、思ったことやわかったこと、考えたことを書きましょう。

1 もし、あなたが「ちづ子さん」と同じ立場だったら・・・、  
と考えると、あなたは「戦争」をどう思いますか？

2 「平和」について思うことを書きましょう。

(この前の時間と合わせて、2時間通しての感想)

(例) わたしたちの今の生活は・・・  
平和な生活をおくるには・・・

「平和」とは、・・・  
これからわたしは・・・